

ソフトラインシステム 施工要領書

1. はじめに

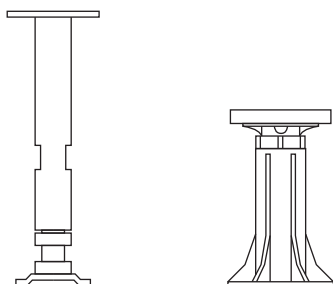
このたびは弊社製品ノンビスウッドデッキ材ソフトラインをご採用いただきありがとうございます。製品の特性を十分に生かし、安全で美しい仕上がりに施工して頂くために本書をよく読み、正しくお取り扱いいただきますようお願いいたします。またご注意いただくのは全ての樹種において樹液成分である灰汁が雨天時に染み出し施工場所を汚しますので設置場所の選定には十分に注意し、また清掃を頻繁に行ってください。

2. 施工工具一覧

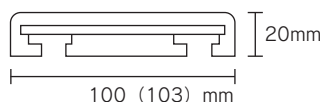
- ・電動ノコギリ（丸ノコ）
- ・インパクトドライバー
- ・水平器 ・レーザー水平器
- ・水糸
- ・スケール
- ・カナヅチ ・ゴムハンマー
- ・ノミ ・カッター
- ・ほうき
- ・ちりとり
- ・ブロア送風機

3. 製品仕様

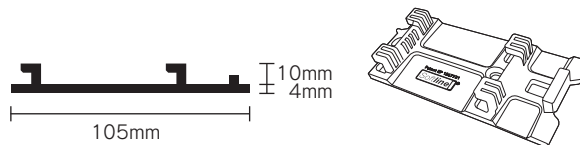
①支持脚 *鋼製束、または樹脂束をご使用ください。



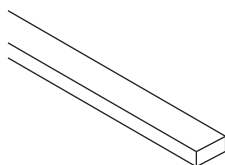
②デッキ床材 厚み20mm x 幅100 (103) mm



③取付クリップ (樹脂留具) 厚み 4(10) x 幅50 x 長さ105mm



④根太材 (ハードウッド：セラガンバツ他) 厚み45mm x 幅60mm



⑤ウレタン系接着剤

4. 施工手順

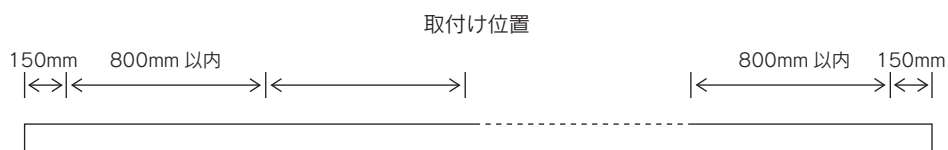
4.1 施工を始める前に

- ・ 施工面にゴミがないように清掃します。
- ・ 床高に合った支持脚であるか確認します。
- ・ 根太材、デッキ床材、取付クリップの数量を確認します。

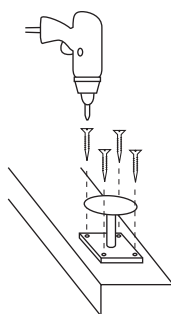
4.2 支持脚の取付け

①根太材に支持脚取付け位置の印を付けます。

- ・ 根太材の両端より150mm 内側の位置から等分し、800mm ピッチ以内とします。

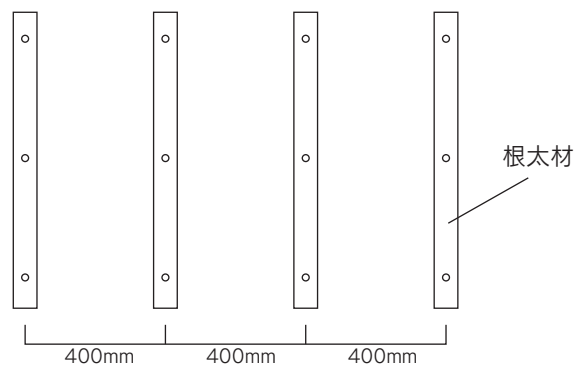


②支持脚をビス留めします。根太材が硬くビスが入らない場合は、下穴をあけると容易にビスを留め付けられます。



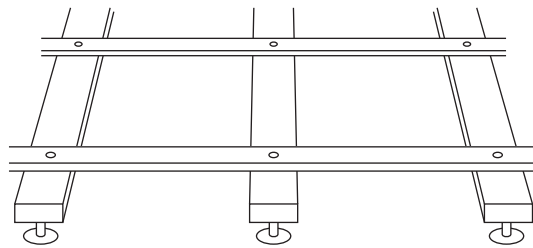
4.3 根太の配置

支持脚を下にして、400mmの等間隔で配置します。

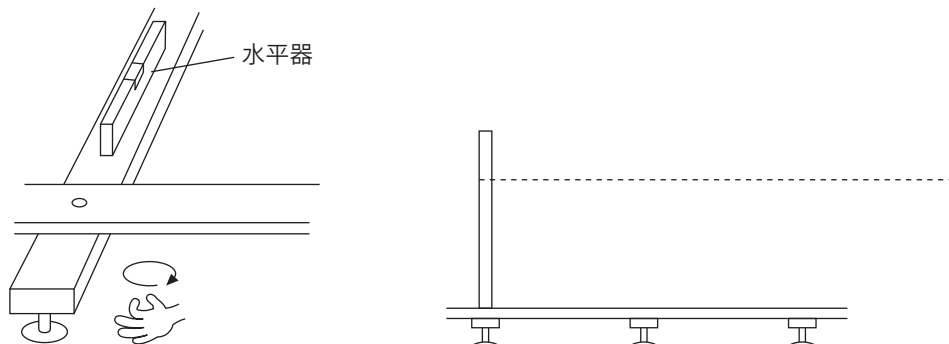


4.4 高さ調整

①同根太材若しくは栈木等を下図の要領で仮留めし仮固定します。

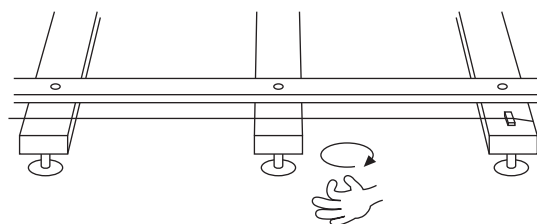


②両端の根太のレベルを出します。

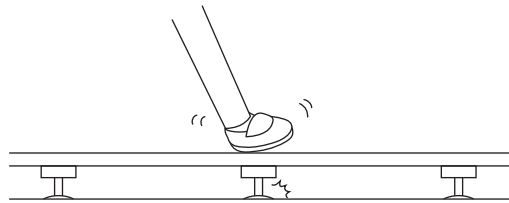


かね尺等を支持脚上に立て、手でボルトを回し、同じ位置にレーザーがあたるように高さを調整します。

③両端の根太から糸を張り、中間の根太のレベルを出します。



④全ての支持脚をチェックし、浮いている支持脚がないようにします。



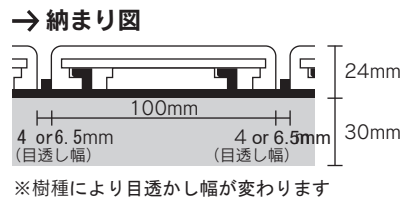
4.5 支持脚をボンドで固定

*鋼製束を使用時、接地面との強固な結合が求められる場合はボンドと併用し、コンクリートビス等で固定してください。

4.6 床板（デッキ材）の施工

ソフトラインシステム ノンビス工法

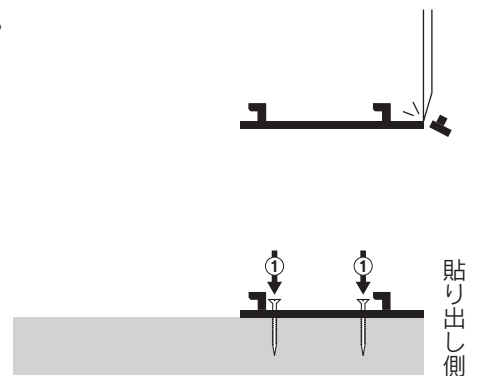
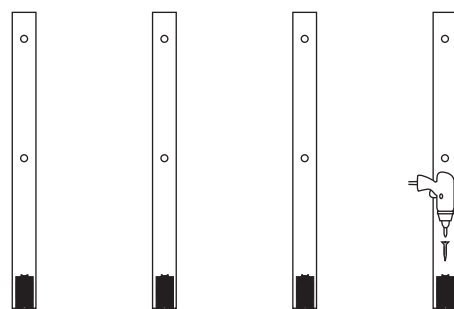
専用取付クリップを使用し、床板（デッキ材）を固定します。



手順

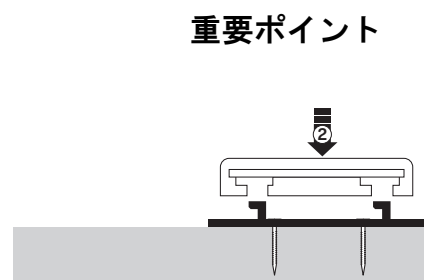
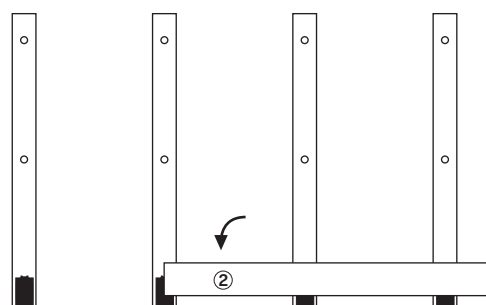
①根太材の端に1列目のクリップをビスで固定します。

*1列目のクリップは右図の部分を実線でカットします。

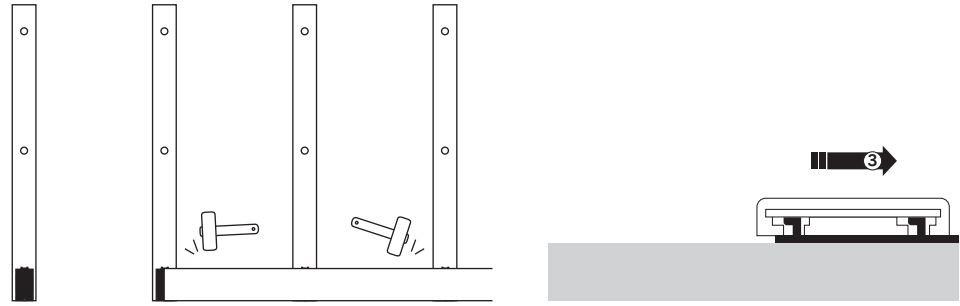


②T字加工されたデッキ材をはめ込みます。

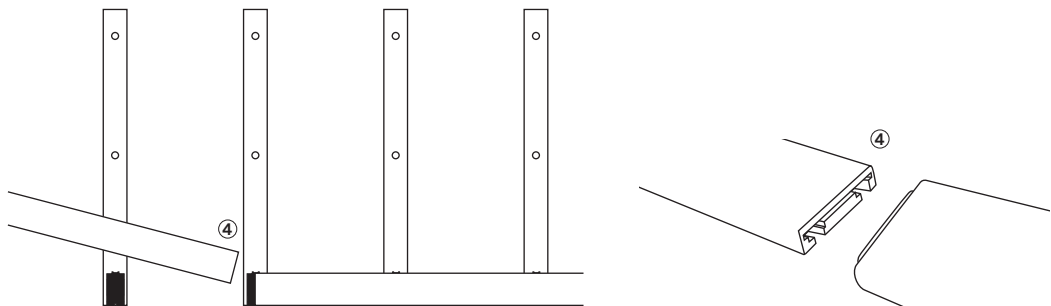
(*ユ部を溝の深い方向へ差し込みます。)



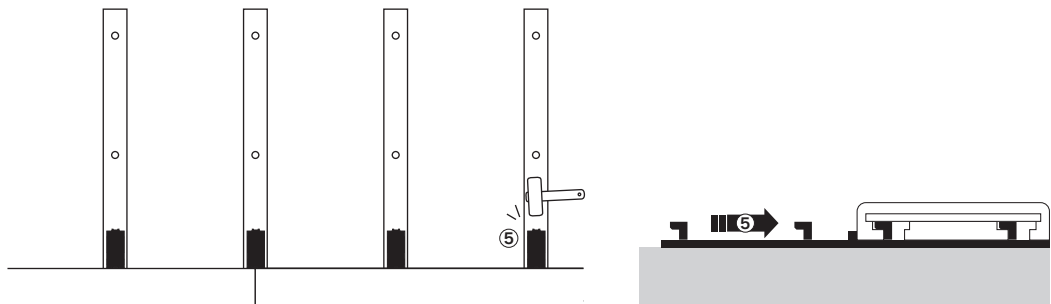
③ゴムハンマー等で叩き込みます。



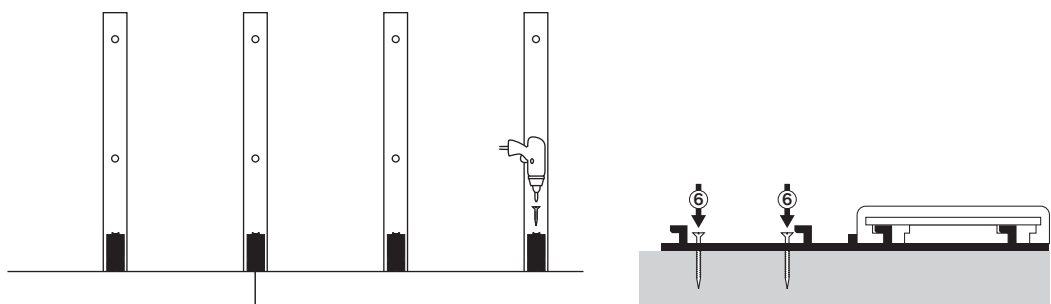
④長さ方向はエンドマッチ実加工で横につないでいきます。



⑤次の列の根太毎にクリップをゴムハンマー等で叩き込みます。



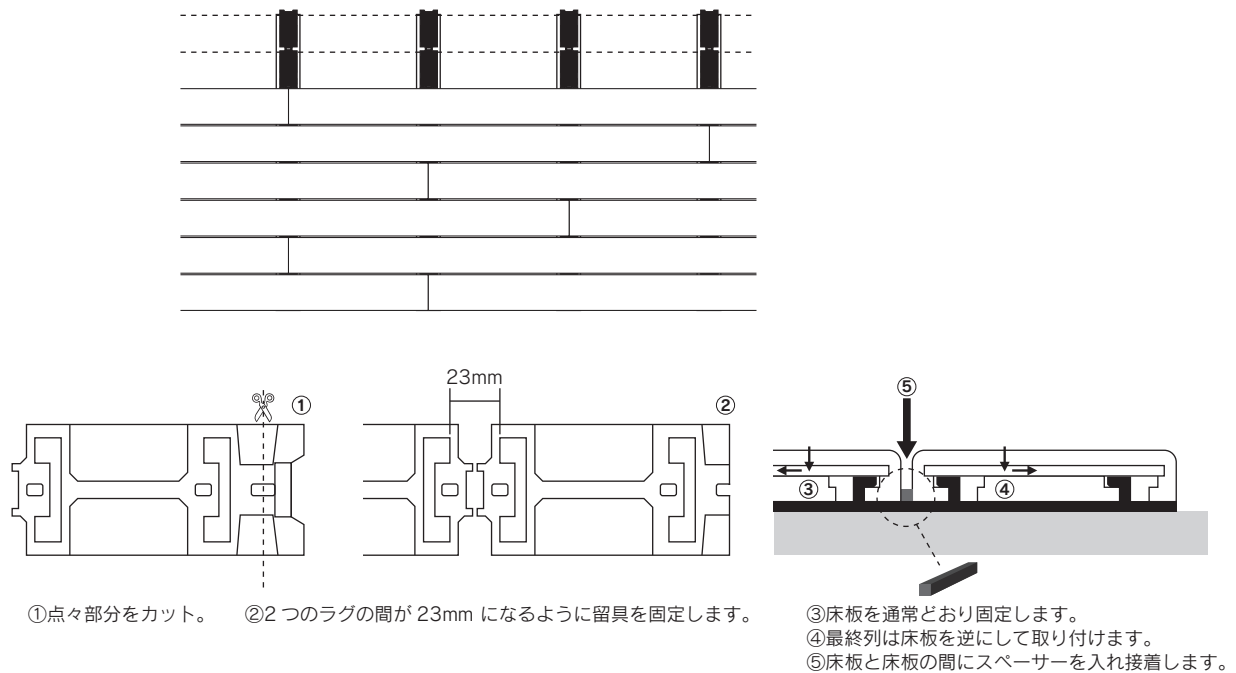
⑥クリップをビスで固定します。



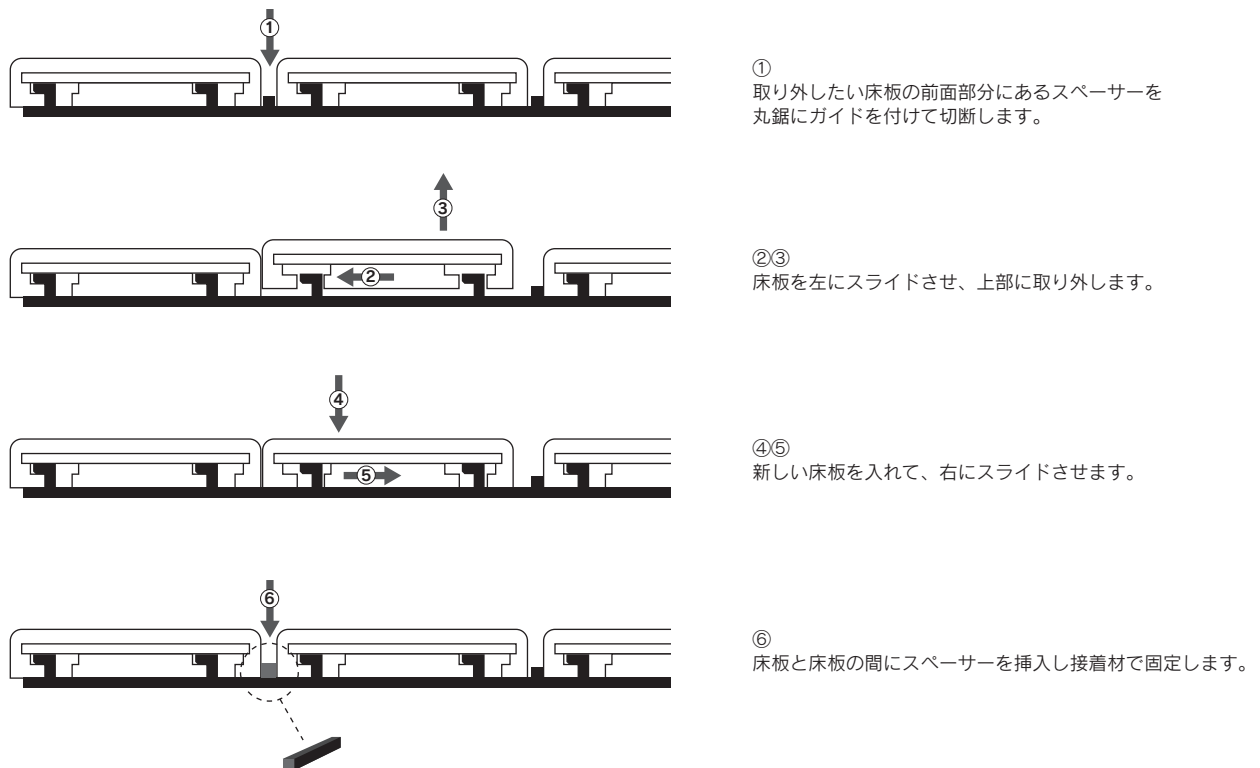
②③④⑤⑥を繰り返します。

⑦最終列の納め方法

*この方法で最後まで床材にビス打ちせずに仕上げる事が出来ます。



5. 床板の交換が簡単に行えます



*詳しい施工方法はホームページ上の動画にてご確認ください。

取扱注意事項

必ずお読みください。

- 商品到着時に、ご注文の商品内容、数量を必ずご確認ください。施工後の商品取替えや損害の請求はお受けできません。
- 商品は無垢の木製品ですので栈木等の上に保管し直接地面の上には置かない様にしてください。
- 現場納入から施工時までの間、商品は雨に濡らさないように必ず養生、保護してください。
- 商品到着時に重大な破損がある場合、現場内破損と見極める為、商品到着後 24 時間以内に弊社担当者宛てにご連絡ください。24 時間を経過した場合の破損材交換は承っておりません事をご了承ください。
(現場内事故の可能性が否めない為)

ソフトライン設計、施工上の注意点

- ソフトライン床材は、乱尺貼りでの仕上げが基本となります。
- 天然木材ですので、経年変化によるササクレ等が発生します。素足での歩行はご遠慮ください。
- 雨、降雪時は表面が滑りやすくなりますのでご注意ください。
- 温泉施設・プールサイド等にご使用される場合は樹種によって変色等の変化が見られますので、事前にカットサンプル等でご確認ください。
- 天然木のため、寸法に若干の誤差が生じる場合がございます。ご了承ください。

施工上の注意点

- ウッドデッキ下の環境をコンクリートにする場合、雨水が滞留しないようにメートル当たり 1.5~3cm の傾斜をつけるようにしてください。クラックやダメージがある場合は補修してください。
- 床材はすべてハードウッドの為、灰汁（タンニンやポリフェノール成分の樹液）が長期間出てきます。雨天時に染み出しコンクリートや石材等を汚します。施工場所の選定には十分にご確認ください。
- 軍手、安全靴、保護メガネ、マスクを施工時に着用してください。
- 床材、根太材の切断は必ず養生シートの上で行うようにしてください。万一、木クズ・木片が施工場所に飛散した場合は、速やかにエアで飛ばす等の清掃を行ってください。
- デッキ上での金属の加工は必ず養生の上、行ってください。金属粉が付着し水に濡れますと黒く変色します。
- 床材自体に反り・欠点がある場合は、調整しながら施工してください。
- 金属類や鉄粉、モルタル等は木の成分と反応して床材表面に黒いカビのような模様を発生します。床材上には、これらの物を直接置かないでください。
- 支持脚を設置の際、防水層に損傷を与えないように十分に注意してください。

使用上の注意点

- ウッドデッキの上では必ず履物を穿いてください。ササクレ等によりトゲが刺さる場合がありますので、裸足は危険です。特に幼児が使用される場合は注意してください。
- 手摺、ベンチ等でご使用の際は十分に注意してください。ササクレが出てケガをする恐れがあります。定期的にチェックし、ササクレが生じた場合はサンドペーパー等で削ってください。
- ウッドデッキ上での火気の使用は避けてください。
火気の使用及びタバコの投げ捨てはやめてください。またバーベキューコンロなど高温になるものを置かないでください。火災の恐れがあり大変危険です。
- ウッドデッキ下の環境をコンクリートにする場合、雨水が滞留しないようにメートル当たり 1.5~3cm の傾斜をつけるようにしてください。クラックやダメージがある場合は補修してください。水はけが悪いと反りやカビの原因となります。
定期的に点検口をあけてドレイン廻りのごみ等を除去して水が溜まらない様にしてください。
- 床材はすべてハードウッドの為、灰汁（タンニンやポリフェノール成分の樹液）が長期間出てきます。雨天時に染み出しコンクリートや石材等を汚します。施工場所の選定には十分にご確認ください。
- 床材、根太材の切断は必ず養生シートの上で行うようにしてください。万一、木クズ・木片が施工場所に飛散した場合は、速やかにエアで飛ばす等の清掃を行ってください。
- 床材自体に反り・欠点がある場合は、調整しながら施工してください。
- 金属類や鉄粉、モルタル等は木の成分と反応して床材表面に黒いカビのような模様を発生します。床材上には、これらの物を直接置かないでください。
- 衣類等をウッドデッキの上に直接置かないでください。ウッドデッキの樹液が染み出し衣類等に色移りする場合があります。